

市仏連会報

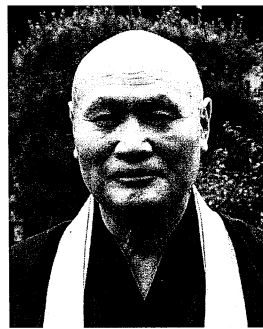
発行所
 横浜市中区大平町96
 光明山西有寺内
 横浜市仏教連合会
 電話(045)661-0166

ご挨拶

横浜市仏教連合会

会長 川上 敬吾

本年五月二十一日の総会にて平成十九年度の事業報告並びに決算報告もお蔭さまにて承認をいただきましたこと誠にありがたく感謝申し上げます。又平成二十年度の



事業計画案とこれにともなう予算案も併せてご承認いただきましたことも重ねて感謝申し上げます。総会の議案「その他」の質疑で時局対策委員会が葬儀に関する諸問題点について取り組みとめあげたものを市内の葬儀社に送付した件（このことは平成十八年五月二十六日の総会で承認されている）についての質問がありました。時対でまとめあげた資料については各区仏でそれぞれ検討されておるようですが、区仏会員の間の話として今までの葬儀社との関係で時対の資料に対していろいろと異なった意見があるとの指摘がありました。

儀式の内容と各会員それぞれが日頃執り行っている葬儀式とは相違点があるようですが、これはそれぞれ宗派の法式とか地域のしきたり等による仕方がありますので当然葬儀式のとらえかたに温度差があるのは否めないことだろうと思えます。委員の人選についても意見がありました。私もこの委員会の立ち上げについては直接かかわってはおりませんでしたので委員会の構成がどのようにして出来たのかその辺のところ詳しく知っておらず今までできてしまったことに対しては誠に申し訳なく思っております。委員会委員の構成については各区仏から一名位参加していただければ委員会と区仏会員との間の意志疎通ははかれるのではと思えます。時対から各葬儀社に対し要望を出した結果葬儀社の寺院に対する接し方が違って来た（良い方向に）点は大変すばらしい結果であったと思えます。

葬儀といえは過日テレビであれこれ取り上げておりましたが、この中で葬儀にかかる費用の総額は平均して貳百参拾萬円、この中で寺院に支払う額は五拾萬円内訳は解りませんが、この額が妥当なのか又は高いのか安いのかは一概に

判断は出来ませんが、一般の人は五拾萬円という額を見ただけでは高すぎると思ってしまうのではないかと想像出来ます。葬儀にかかる費用が高額であるというイメージが出来あがってしまつて、これが葬儀離れに大いに影響しているのではないかと思えます。この辺のところは寺院サイドとしても心していかねければならないのではないかと思えます。以上総会に於ての質疑の点について述べさせていただきます。

さて、横浜市仏教連合会も昭和二十四年に設立発足し来年で六十年目を迎えます。年間事業としての涅槃会は各区仏会員のご尽力により毎年盛会裡に執り行われておりますが、他方毎年行われておる仏跡参拝旅行は年々参加者が減少しております。この旅行は布教教化の上でも大変有意義ですので会員各位のご協力を是非ともいただきたいと思えます。又関連団体である横浜市釈尊奉讃会も来年で三十周年迎えます。奉讃会も設立当初は会員も多数おりそれなりの活動も活発であったのですが、現在では会員数の減少により事業を実行するのにも支障をきたしておる状態ですので奉讃会に対しても一層のご協力を賜りたいと存じます。市仏連並びに奉讃会が益々発展出来ますよう会員各位のあたたいご支援をお願い申し上げます。



市仏連役員名簿

- 名誉会長 大道晃仙
- 顧問 志村慎吾
- 顧問 滝川覚道
- 顧問 横山敏明
- 顧問 齋藤隆法
- 顧問 都築哲信
- 顧問 福永昭吾
- 顧問 川上敬吾
- 顧問 玄野善行
- 副会長 山本信成
- 副会長 林田真成
- 専務理事 橋下賢明
- 會計 秋山智謙
- 會計 備前恭忍
- 会報担当 関水俊道
- 会報担当 関水俊道
- 監事 佐藤功岳
- 監事 福田俊光
- 監事 佐伯隆義
- 理事 各区仏会長

区仏会長名簿

- 鶴見区 智廣寺 橋本正博
- 神奈川区 本覚寺 守長尚文
- 西区 萬徳寺 横山正彦
- 中区 大圓寺 佐藤功岳
- 南区・港南区 興禅寺 市川智彬
- 保土・旭区 随流院 西村悦次
- 磯子区 真照寺 水谷栄寛
- 金子区 金龍禪院 志村碧崖
- 金沢区 妙蓮寺 山本玄征
- 港北区 長王寺 山本信行
- 都筑区 萬藏寺 河本問文
- 緑・青葉区 雲林寺 北見秀明
- 戸塚区 長天寺 三田裕道
- 瀬谷区 無量寺 小川豊彰
- 泉区 般若院 星野英秀

第三十五回総会開催

平成二十年五月二十一日(水)
午後一時よりの理事会を経て、午後二時より、当市仏連の二十年度の総会が西有寺にて、約二十三名の出席者を持ち開会された。

- 一、開会の言葉 玄野孝善師
- 一、会長挨拶 川上敬吾師
- 一、議長選出 山本信行師
- 一、議案審議
- (1)平成19年度事業報告
- 林田真成師

- (2)時局対策委員会よりの報告
- 佐藤功岳師
- (3)平成19年度決算報告
- 秋山智謙師
- (4)会計監査報告
- 福田俊光師

- (5)以上承認の件 山本議長
- 当局提案承認された。
- (6)平成20年度事業計画(案)
- 林田真成師
- (7)平成20年度予算(案)
- 秋山智謙師

- (8)以上承認の件
- 議長山本信行師、承認された。
- (9)仏跡参拝旅行の件
- 鎌倉方面、建長寺・光明寺・青蓮寺参拝、参加人数の確認をするも、はなはだ少なく、今一層の参加を呼びかけてほしい。

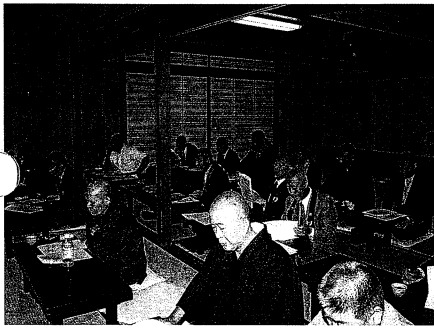
- 林田真成師
- (10)横浜市釈尊奉讃会の件について
- 程木昭徳師
- 会員が二四五人だが会費納入者が一三〇口で、区仏会長が奉讃会

の理事なので、総会に出席下さり何とか会員増強策を御指導願いたいと強く市仏連に要望する。

(1)その他 役員名簿と新任者の紹介 林田真成師

(2)時局対策委員会のあり方と正しい仏教葬儀ネット活動について 佐藤功岳委員長

市には一七〇万世帯があり、市仏寺院四三四ヶ寺(二〇〇〇三〇万世帯が檀家となり、み仏の教えが何らかの形で普及している。菩提寺の無い世帯が圧倒的に多い。新檀家としてとりこむのか。葬祭連より、個々の寺院方が門前払いで葬儀を受け付けてくれないので市仏連で受け皿を用意してほしい。との要望に答えて、市仏葬儀ネットを発足させた。しかし、現在、開店休業の状態である。時局対策委員と各区仏会員との間に温度差



があるように思われ、その差を縮小するため、各区仏へ再度、当運動についてのご意見を求める文書を送付しました。今日、ご提出のご意見を頂戴したい。

多数の意見が発言され、質疑応答も活発にされた。ホームページを利用する四〇歳代の和尚さんも多いので、ホームページを作成して宣伝したらいかがか。某区仏は56ヶ寺の内、5ヶ寺しかアンケートに答えてくれなかった。興味を示さない。市仏ネットの現況は厳しいと認識せざるを得ない。我が区仏では葬儀ネットの意義がよく分からない。葬儀業者と寺、上下

無し、ちまちまと業者との関係に終始するのは本末転倒で、喪主施主葬家に利益をもたらす根幹を改めて作っていく方向を検討すべき。

市仏連会長の責任に発展するので、この際、葬儀ネットを解体したらいかかか。時局対策委員会を再編成するため、区仏より1名づつ委員を出し、その人達の手で委員長を選出し解体的再出発、新発足すべきであろう。

結論、議長取りまとめる。時局対策委員会に各区仏より1名、委員を出す。了承された。

午後三時四〇分、総会終了、閉会の言葉 山本信行副会長

訃報



釈尊奉讃会会長を務められていた清水正一氏が、平成二十年八月十一日に逝去されました。氏は旭区長昌寺役員その他、学校法人まきが原幼稚園理事長、社会福祉法人特別養護老人ホーム等、多くの役職に就かれて活躍されていま 哀悼の意を表します。

西有寺様の心づくしの料理で、懇親を深めて、散会した。

平成19年度時局対策委員会

事業	開催日時	会場
① 第1回(通62)委員会	6月14日	大圓寺
② 第2回(通63)委員会	11月8日	大圓寺
③ 全日本仏教徒会議神奈川大会	11月19・20日	パシフィック 横浜
④ 第3回(通64)拡大委員会	3月10日	大圓寺
⑤ スタッフ会議	3月31日	大圓寺

収支決算書		
収入		
前年度繰越金	861.254	(協賛金繰越分 431.654)
委員会費	200.000	
利子	1457	
計	1,062.711	
支出		
電話代	34.183	
会場費4回	20.000	
計	54.183	
次年度繰越金	1,008.528	円

以上ご報告いたします

平成20年3月31日

委員長 佐藤 功岳

横浜市仏教連合会 平成20年度歳入歳出予算書 (案)

歳入金2,399,401円
歳出金2,399,401円
差引額 0円
(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減. Rows include 1. 会費収入, 雑部金, 3. 過年度収入金, 4. 前年度繰越金, and 合計.

横浜市仏教連合会 平成19年度収支計算書

収入金2,724,001円
支出金2,076,600円
差引額 647,401円
(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減. Rows include 1. 会費収入, 雑部金, 3. 過年度収入金, 4. 前年度繰越金, and 合計.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 差引増減. Rows include 1. 総務費, 2. 需要費, 3. 事業費, 4. 助成金負担金, 5. 雑支出, 6. 予備費, and 合計.

平成20年5月21日

上記のとおり歳入歳出の予算案を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長 川上敬吾

会計 橋下賢明

会計 秋山智謙

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差引増減. Rows include 1. 総務費, 2. 需要費, 3. 事業費, 4. 助成金負担金, 5. 雑支出, 6. 予備費, and 合計.

総収入2,724,001円-総支出2,076,600円=繰越金647,401円

次年度繰越金 647,401円

特別預金 ゆうちょ銀行 定期定期金 5,673,000円

平成20年5月10日

上記のとおり収支計算書を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長 川上敬吾

会計 橋下賢明

会計 秋山智謙

監査の結果相違ないことを認めます。

監査 福田俊光

監査 佐伯隆雄

第二十四回春の仏跡参拝旅行

鎌倉の名刹

平成20年6月2日(月)、鎌倉の名刹をめぐる参拝団一行、四十八名を乗せたバスが、曇り天気朝八時に天理ビル前を出発した。

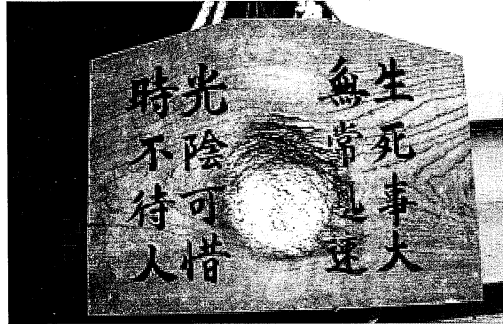
鎌倉材木座の浄土宗大本山光明寺に8時50分〜10時15分まで参拝した。宮林昭彦台下の御話しを拝聴し、諸堂拜観をし、特別に山門の上に登らせていただき、羅漢様を身近にお参りし、鎌倉材木座の風景を眼下に一望した。海は眼の前である。遠くに江の島方面が見渡せる。参加者一同、いたく感嘆した様子であった。

次に鎌倉の建長寺を参拝した。臨済宗建長寺派の大本山で鎌倉五山の第一位の立派な壮大な空間や伽藍のお寺だった。宗務総長様が



出迎えて三門前でお話をいただいた。総長老のお話しはユーモアがありわかりやすく、一同聴き入った。このような布教のお話しは、本当にありがたかった。

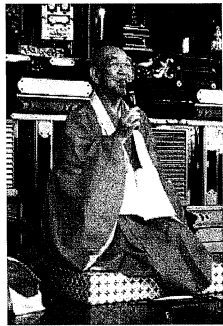
総長様には諸堂も案内いただいた。はじめになかなか入れない専門僧堂エリア「西来庵」を案内いただいた。入り口で説明を聞いてみると、中から木版の音が聞こえてきた。昼食の終わりの合図らしく、坐禅堂から雲水さん方が出て来られた。僧堂のある境内はこじんまりとした静寂の中に建物が並ぶ。正面には開山蘭溪道隆禅師を祀る開山堂があり、前庭には大きなビャクシンの木がそびえている。右側には坐禅堂があり、修行僧の



生活の中心の建物である。冬でも窓は開け放たれて坐禅をするのだそうである。そして、私達は身の引き締まる思いであった。続いて、方丈、仏殿と拜観させていただき、本坊客殿前にて記念写真を撮った。境内は修学旅行の小学生や参詣の人であふれていた。

そして、鎌倉の料亭「鉢の木」で昼食。古都の料理は美味しかった。手広の高野山真言宗飯盛山仁王院青蓮寺(はんじょうざんにんのういんしょうれんじ)通称、鎮大師と呼ばれ参拝した。あいにくと小雨天気となった。ご本尊の弘法大師像(国重文)は別名、くさり大師の名で親しまれ、本尊の弘法大師像の両足の関節が鎖でつながれ、信仰上の意味としては「大師様を信仰する人と大師様が、鎖のように強いご縁で結ばれますように」と願いがこめられている。

と副住職様のご案内でした。それから2時10分〜3時20分、江の島で買い物をしたりして、雨の煙る海を眺めながら、ゆつくりとすこし、夕方5時に天理ビル前へ無事帰着した。市仏連では初の鎌倉方面参拝だった。充実した信仰の旅に皆様、満足気に帰路につかれた。「又ね」との言葉をやりとりして。



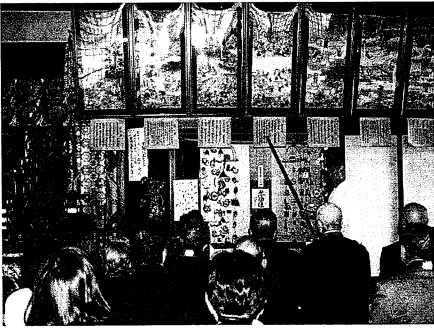
横浜市仏教連合会 鎌倉建長寺参拝記念 平成20年6月2日

秋の仏跡参拝旅行

伊豆半島・平和折念の旅

十月十五日と十六日に、釈尊奉讃会と市仏連によります秋の仏跡参拝旅行が、伊豆半島の寺々を訪ねて行われました。昨年は諸事情によりお休みしましたが、今年より、気軽に楽しんでいたため一泊二日としての開催となりました。

朝七時に横浜駅天理ビル前を出発して横浜新道、藤沢バイパス、西湘バイパスと順調に進み、東伊豆町稲取にあります臨済宗濟廣寺に到着。境内には樹齢七百年を数える高さ十八メートルにも及ぶという榎(かや)の木があり、別名「カヤの寺」と呼ばれています。本堂に入り、住職様と共に読経参拝の後、楽しい話を折り返せ、ゆつくりと、全十六図に描かれた地獄極楽絵図の絵解き法話をお聞きし



ました。軽妙な話術と、ズバリと人心を突く切り口のしゃべりで一時間半に及ぶ話もあつという間に過ぎ、一同、ご住職の迫力に圧倒されて聞き入っていました。法話の後、本堂の地下にある戒壇めぐりをして厄落としを行いました。また、宝物館にはビルマの竖琴や仏像などが多数安置されていて、見る者を飽きさせない工夫が凝らされています。ご本尊不動明王様は、癩病厄除の仏様として三度まじりの御祈禱を受け付けているというのでした。とにかく、信仰心をかき立てる工夫が沢山施されていて、参詣者で賑わうことが想像されました。

参詣後、近くの海鮮料理店で昼食をとり、一路下田へ。

下田は、江戸末期に、鎖国から開国への動きの中、日本初のアメリカ総領事館が置かれた地として有名です。その領事館が置かれた曹洞宗玉泉寺を訪れました。読経参拝後、住職様のお話をお聞きしました。

玉泉寺の現本堂は、江戸末期の嘉永元年(一八四八)に建立されたもので、領事館となったのは建立後八年後で、当時としては新築後の建物であった訳です。茅葺屋根から銅板葺に改装されたものの堂内の間取りは、ハリスが二十ヶ月滞在していた頃と同じで、意外



と狭い空間に寝起きしていたことが判り、貴重な歴史の舞台であったことに感動を覚えます。この寺には、市仏連副会長安野孝善師が、修善寺の修行時代に数日滞在されたことがあるという事も、今回訪問できた機縁となりました。玄野師は、当時を懐かしく語られ、「元気の良いおばあさんが寺に居られてよく怒られました」と話されると、そのお方は住職のお母様ということでした。

境内の資料館には、当時の記念となる品々が保存され、貴重な文書や写真なども文化財として指定されています。ハリスは安政三年(一八五六)の九月に米艦サン・ジャント号で通訳官ヒュースケンを伴って総領事としてこの玉泉寺に着任します。この地に初めて星条旗が掲げられた日の日記にハリスは次のように記しています。

「旗棒が立った。水兵たちがそれを廻って輪をつくる。そしてこの日の午後二時半に、この帝国に

おけるこよまでの「最初の領事旗」を掲揚する。厳肅な反省、変化の前兆、疑いもなく新しい時代がはじまる。取えて問う、真の日本の幸福になるだろうか？」

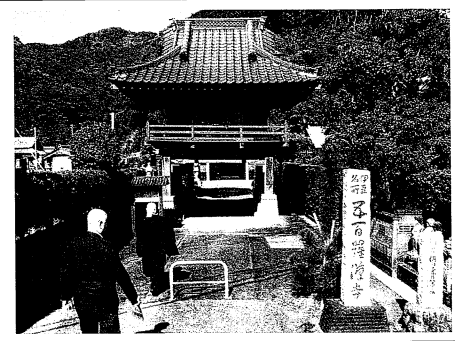
こう記したハリスは翌年に十三代將軍徳川家定公と江戸城にて謁見し、篤姫も同席したことが、NHKの大河ドラマでも放送されました。明治維新はこの十二年後であり、日本は尊皇攘夷の声も高い混沌とした時代でありハリスの苦悩と不安の日々は想像を絶したことでしよう。また、当寺は外国人の埋葬所ともなっていて、本堂裏の墓所には、ペリー艦隊の黒船の乗組員五名と、ロシア船ディアナ号乗員三名他の墓石が建立されています。昭和五十四年にはジミー・カーター米大統領がこの地を訪れ、墓所にお参りされました。ハリスの問うた真の日本の幸福はどうであったのかを改めて問いながら、ご住職自らお送りいただいて山門をあとにしました。なお、「お吉



物語」で有名な唐人お吉は、下田に住むお吉、お福、おさよ、お清、お松という五人の看護婦らのことを脚色して作られた話のようである。

この日の宿は下田の南の海岸に位置する季一遊(ときいちゆう)で、水平線から上る日の出がとてきれいでした。

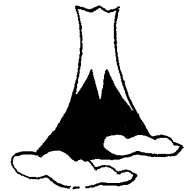
二日目は、奥石廊崎まで足を延ばし、美しい海岸線を西伊豆へと北上。すばらしい天候に恵まれました。アロエの花の美しいアロエセンターに立ち寄り、漆喰芸術の長八美術館を訪れました。そして、堂ヶ島にある五百羅漢の寺として名高い臨済宗東福寺を参詣いたしました。羅漢様は、大正時代の終り頃、当地より東京に出て料亭を営み財を成した佐野為吉氏によって、両親の供養のために寄進した漆喰による天井絵。本堂中央には八方睨みの龍、周辺に五百体の羅漢像が描かれ、八十余年の月日を経た今なお、色鮮やかに輝いていま





横浜市釈尊奉養会仏教連合会 平成20年10月15日 下田 玉泉寺

した。一泊でしたが、内容の濃い心安らかな参拝旅行を終えて伊豆の海を後にしました。
参加寺院、松蔭寺、長昌寺、見光寺、東照寺、妙光寺、東泉寺、西福寺。



仏事中心、いわゆる葬式仏教に頼ってきた都会型寺院であるが、ここ数年に急速な変化が訪れている。市仏連が動き出した時局対策委による「市仏ネット」もこうした情勢を懸念しての正しい葬儀を呼びかけるものであった。しかし事態は増々深刻になっていく。家族葬という名の簡素化だけに留まらず、通夜なし、戒名なし、そして、僧侶を呼ばないお別れ式へと。檀家制度の崩壊に止まらずに寺院そのものの存続も危い時代が訪れるかも知れない。

特集 (話材紹介)

新しい布教教化のあり方

そんな時代への危機意識を持つ諸師は、各地で様々な活動を展開し、方向性を模索している。会員諸師の中にも、講演会、各種文化事業、催しを行い、仏事以外の存在意義を深める取組みが見られる。また、仏事が単なる儀礼的なものに留まらず、生きる活力としての精神的な依りどころとなるべき布教教化を展開する諸師も多い。話材紹介では、そんな話題も紹介したい。今回は北海道に学ぶ布教教化である。

来年は横浜開港一五〇年を迎えます。会員諸師寺院におきましても、神奈川県の本覚寺様をはじめ開港の歴史とゆかりの深いご寺院も多いいと思います。当市は、日本の海の窓口としての役割を担い、産業文化の入口としても特徴的な発展を遂げて来



- ☆日本大通り
- ☆フラワーアートプロジェクト
- ☆横浜駅周辺整備 戸塚駅周辺整備
- ☆米軍施設返還地推進 象の鼻地区再整備 マリントワー整備 アメリカ山公園整備 文化芸術創造都市形成 黄金町など、150本植樹森づくり、世界子供サミット
- ☆世界卓球二〇〇九横浜 4,28
- ☆テーマイイベントY 150 7,4
- ☆アジアヒルサイド
- ☆横浜国際トライアスロン 8,21
- ☆海のエジプト展
- ☆海フェスタ
- ☆日本大通り

北海道寺院に学ぶ 布教教化

「寺門興隆」11月号には、北海道江差町の曹洞宗正覚院、松村俊昭師の活動が紹介されている。この寺は五木寛之氏の『青春の門』挑戦編の舞台となった寺だそう。松村師は、二十五年にわたり、寺を中心とした地域の活性化、人材の育成に取り組み、「江差地域大学」と称して、著名人を招いての講演を中心とした市民大学活動を展開したそうだ。そのため、見事に寺を中心とした地域の活性化をもたらしたそうだ。けれども、成功の背景には、北海道の布教教化



「北海道寺院」奥が納骨堂

の礎があるように思える。編集子は、この秋に北海道のある地を訪れて驚いた。どの寺院も年間に十回もの檀信徒が集まる行事をほぼ毎月行っている。イベント行事というよりは、三仏忌とかお会式とか御忌、宗祖忌、開山忌

とかという伝統的な仏教行事が中心である。もちろん修正会や施餓鬼会、彼岸会などもある。檀信徒はそのつど、供養料はもちろん、食材などを持ち寄り、皆で食事をとり合い、信仰のひとときを共有する。

北海道の寺院は、南部においては四百年近くの歴史をもつ寺もあるが、多くは明治以降のものが多い。開拓とともに、移り住んだ人々によって、内地故郷の仏事習慣をもとに共同の手によって開かれた寺、宗派の布教方針によって拠点寺院を中心に広がった寺など形態は異なっても、多くは、寺請制度に頼らない信仰の土台によって支えられてきた寺檀関係であることに特徴がある。

開教の中心は札幌五大寺であったと言われている。真宗大谷派札幌別院、曹洞宗中央寺、浄土真宗本願寺派札幌別院、日蓮宗経王寺、浄土宗新善光寺であり、その後、各宗派も開教された。開教の原動力は、死者の供養・仏事を担う存在として寺院を必要とされた事で

あるという。葬送儀礼は一大事出来事なのであり、この供養の殿堂として寺院が存在してきたのも事実なのであろう。そのような背景をもとにして、江差の「地域大空」、文化の拠点としての寺の機能もあると言える。

現在の札幌寺院の各宗派で行われている行事は次の通りである。

(1)天台宗：元三会、水無月会、誕生会、霜月会、大護摩、地藏盆等。

(2)真言宗：正御影供、宗祖報恩会、初大師、大般若、納め不動等。

(3)浄土宗：御忌、十夜法要、永代祠堂法要、護国等。

(4)浄土真宗：御正忌、宗祖降誕会、報恩講、永代経、祖徳讃仰会等。

(5)臨済宗：達磨忌、三仏忌等。

(6)曹洞宗：達磨忌、兩祖忌、三仏忌、施食会、開山忌等。

(7)日蓮宗：開宗会、御会式、宗祖御講、尊神大祭、星祭会、荒行等。



「納骨堂の内部」

省略されることの多い風潮の中、北海道では、信仰に裏づけされた伝統的な仏教行事が行われていることに驚く。旧来の檀家制度に頼れなくなるであろう将来を見据えた時、北海道寺院のあり様は、原点を学ぶ良い事例かも知れない。

参考文献
『札幌の寺社』北海道新聞社刊。
『寺門興隆』通巻一〇〇号
(編集子編)



私も、横浜市港北区仏教会は、去る六月五日、神奈川県戦没者慰霊堂にて行われた戦没者慰霊月例祭に年番として参加して参りました。

当日は雨天にもかかわらず、磯子区・栄区・泉区・瀬谷区・厚木市・梹央・足柄下郡の各支部の方々、百名を超える参加者がお集まりになりました。

当仏教会からは、妙蓮寺・常真寺・慈雲寺・本法寺・観音教会の5ヶ寺が参加し、遺族会会員・天理教雅楽部の入場の後、雅楽の音色を背に入場し、司会にご紹介を賜った後、勲行・焼香致しました。その後の法話では、池上の先代の貴主様、田中日淳上人のシンガポ

ルのチャ、キー刑務所での教誨師の体験のお話をさせて頂き、ご来賓の挨拶と続き、無事式を終えることが出来ました。

神仏混合の式次第に多少の緊張はございましたが、先の戦災で尊い命を失った方々の御霊を慰霊させて頂く機会に恵まれ、参加者一同、大変有難く感じるとともに、仏教の社会貢献の大切さを思いました。

● 保土ヶ谷・旭区

保土ヶ谷・旭区仏教会では、四月四日(金)午前10時より、旭区上川井町の真言宗「長源寺」様にて奉讃会と合同で「釈尊降誕会」の法要を厳修致しました。

式次第は左記の如くです。

- 一、入堂
- 一、開式の辞
- 一、三禮
- 一、献甘茶
- 一、啓白文
- 一、読経(観音普門品偈)
- 一、聖号敬唱七返(南無釈迦牟尼)
- 一、回向
- 一、三禮
- 一、挨拶(奉参会長、仏教会長)
- 一、退堂
- 一、法要後
- 一、奉讃会総会
- 一、講話(講師)銚子市満願寺住職 平幡良雄師)

戸塚区仏教会は戦後間もなく戸塚周辺の寺院が中心となり毎年四月に仏生会を行っております。かつては雅児行列が行われておりましたが、交通事情により現在は持ち廻りの会場寺院にての行事となっております。当初より駅周辺の商店のご賛助を頂き運営致しておりますが、本年は戸塚駅西口再開発工事の為商店が移転や休業となり賛助をお願いしにくい状況にあり、特に区仏教会寺院に賛助のお願いを致しましたところ二十数ヶ寺のご賛助を頂き例年通り盛大に花祭りご勤修出来ました。

当日四月五日は曹洞宗雲林寺を会場とし、午後二時より尺八の演奏・御詠歌の奉詠・本堂内にての導師啓白文奉誦・区仏寺院と世話人による般若心経・世尊偈の読経灌仏が行われ、また境内でも白象上の誕生仏に檀信徒による灌仏が行われました。清興としての演歌を聴きながら甘茶や般若湯などを頂き、今年の花祭りが賑やかに、且つ賑かに円成できました。

尚、来年二月の涅槃会は戸塚区仏教会の担当で、会場は川上町勝寺にて開催予定です。その折りはご負担の程宜しくお願い申し上げます。

期	日	時間	内容
第1法要	1月 18日	午前 10時	本願寺派 開教記念法要
第2法要	1月 18日	午後 1時	曹洞宗 開教記念法要
第3法要	2月 24日	午前 10時	臨済宗 開教記念法要
第4法要	3月 8日	午前 10時	日蓮宗 開教記念法要
第5法要	5月 8日	午前 10時	浄土宗 開教記念法要
第6法要	7月 12日	午前 10時	浄土真宗 開教記念法要
第7法要	7月 15日	午前 10時	天台宗 開教記念法要
第8法要	8月 24日	午前 10時	真言宗 開教記念法要
第9法要	9月 8日	午前 10時	曹洞宗 開教記念法要
第10法要	11月 10日	午前 10時	臨済宗 開教記念法要

○ 出 席 会 員 毎月10日 午後7時～午後9時まで参拝。急な変更でもお知らせいたします。

○ 曹洞宗 法要 一週にお知らせいたします。毎週日曜日 午後1時～2時くらいです。

○ 浄土宗 法要 毎月10日(土曜日の前日) 午後1時～2時くらいです。

○ 臨済宗 法要 毎月10日(土曜日の前日) 午後1時～2時くらいです。

「年間予定表」

- (1) 天台宗：元三会、水無月会、誕生会、霜月会、大護摩、地藏盆等。
- (2) 真言宗：正御影供、宗祖報恩会、初大師、大般若、納め不動等。
- (3) 浄土宗：御忌、十夜法要、永代祠堂法要、護国等。
- (4) 浄土真宗：御正忌、宗祖降誕会、報恩講、永代経、祖徳讃仰会等。
- (5) 臨済宗：達磨忌、三仏忌等。
- (6) 曹洞宗：達磨忌、兩祖忌、三仏忌、施食会、開山忌等。
- (7) 日蓮宗：開宗会、御会式、宗祖御講、尊神大祭、星祭会、荒行等。



都筑区

都筑区仏教会では十月三日「成田山新勝寺・西新井大師・巢鴨とげぬき地蔵日帰り参拝旅行」を催しました。この時季はさまざまな旅行が目白押しで参加者が少な

成田山に着いてまず目につくのは壮大な真新しい総けやき造りの総門で、総工費二十億円以上をかけてつい最近完成したということ

区内の動きを幾つか紹介します。まず、小学校の児童の増減から、見ましよう。大まかには、本郷台

い学校は学校そのものが半分になつてしまします。その理由は、駅付近にはマンションが建ち、環状四号(原宿六浦)線を

次に、鎌倉街道の拡幅工事と横浜環状南線の整備が進行していま

最後に、新しいお寺らしきものが一つ二つ出ています。区内の人口が減少している所へなぜ、と

磯子区

この度、磯子区仏教会の会長に就任致しました。真言宗真照寺の水谷栄寛と申します。

世界仏教徒会「WFB」の世界大会が今年日本で開催されます。その昔日本で世界大会が開催され

の全日本仏教青年会となり、私もその会の理事長をさせて頂きました。連合体での運営には様々な苦

評価は高いとは言えません。しかし、日本仏教以外に一般の方の視線で物事を判断できる宗教はあり

微力ながら任期中頑張っ行ってきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

泉靈堂出仕当番表

- 平成21年4月6日 保土ヶ谷旭区
平成21年6月5日 鶴見区
平成21年10月5日 戸塚区
平成21年11月5日 栄区
平成22年4月 泉区
平成22年6月 瀬谷区
平成22年10月 都筑区
平成22年11月 緑・青葉区



涅槃会担当区予定

- 平成21年第34回 戸塚区仏教会
平成22年第35回 鶴見区仏教会
平成23年第36回 西区仏教会
平成24年第37回 磯子区仏教会
平成25年第38回 神奈川区仏教会

総会議長担当区

- 平成21年第36回 戸塚、瀬谷
平成22年第37回 泉区、栄区
平成23年第38回 鶴見、神奈川
平成24年第39回 西区、磯子
平成25年第40回 港北、中区

事務日誌

- 20.5.2 理事会役員へ案内
20.5.14 役員会 於四川飯店
20.5.21 第35回総会 西有寺
20.5.26 総会欠席者へ通知
20.6.2 第25回春参拝鎌倉へ
20.9.5 金沢区へ慰霊堂依頼
20.9.9 奉讃会会長計報送付
20.9.12 市仏連奉讃会役員会
20.9.19 市仏連奉讃会役員会
20.10.5 中区へ慰霊堂依頼
20.10.15 16

仏跡参拝旅行(伊豆)

編集後記

◎建長寺老師の言はく。建長興国禅寺と称するのは、日本の国をどう栄えさせるのかという政の策を

◎北京で五輪オリンピックが国家事業として盛大に八月に開催された。開催前の聖火リレーのチベッ